

本科講座 34 資本の引き出し

ねらい 決算整理事項仕訳が終了後の決算本手続きについて学習する。

【資本の引き出し】

簿記3級では、個人商店を対象とした試験になっています。では個人商店と、出資者がいる株式会社（有限会社）とは何が違うのでしょうか？それは資本金の自由度の違いが上げられます

個人商店では、資本金は事業主が出資（出して）していますので、個人的な理由（子供にお小遣いをあげる、私用で店の商品を使うなど）で自由に使うことができます。それに対して株式会社では、出資しているのは株主（一般人）ですので、資本金（出資金）は自由に使用することができません。〔株式会社では、資本金のお金を私用に使うと窃盗扱いになりますし、店の商品を私用で使う場合は店から購入しなければいけません〕このように、事業主の個人的な理由により、資本金のお金を使用することを資本の引き出しといいます。資本の引き出しの場合も簿記上の取引になりますので、引出金勘定を使用して仕訳を行わなければなりません。

例1 現金5,000円を自家用車のガソリン代として引き出した。
(借方) 引出金 5,000 (貸方) 現金 5,000

ここで注意する点は、引き出した場合は、借方が引出金勘定となる点です。現金5,000円が増えるので、借方に現金5,000円としてしまいそうですが、仕訳は会社から見た場合は、現金の減少と考えて下さい。また、店の商品を持ち出した場合は次のようになります。

例2 私用で店の商品15,000円を持ち出した。
(借方) 引出金 15,000 (貸方) 仕入 15,000

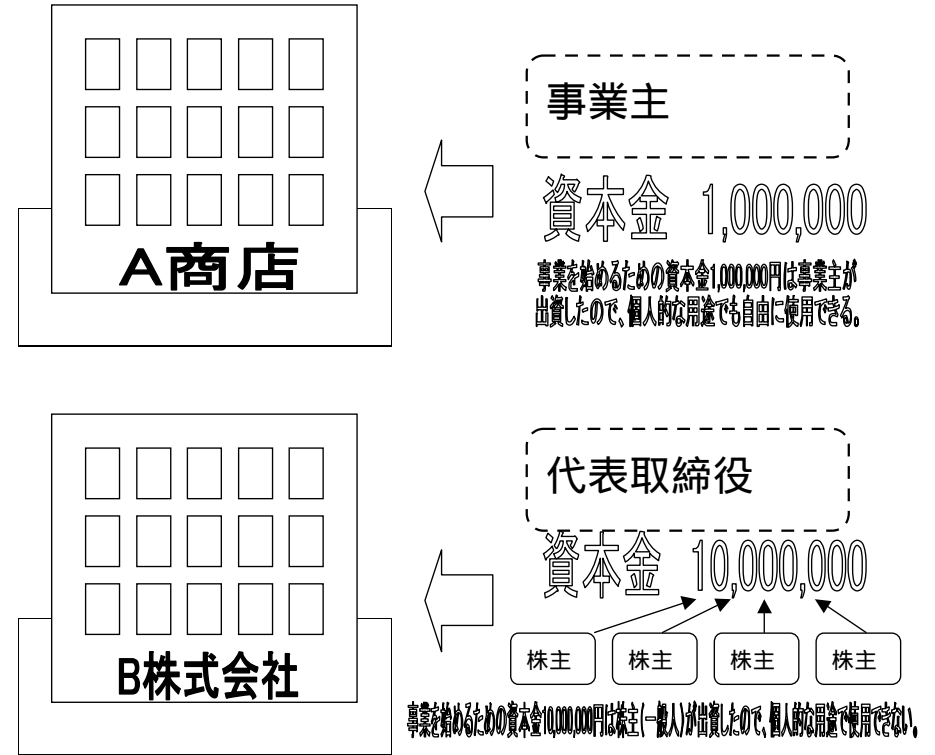
引出した場合はやはり借方に引出金勘定となります。また、引き出したお金をもとに戻す場合もあります。

例3 以前、引き出した現金3,000円を返金した。
(借方) 現金 3,000 (貸方) 引出金 3,000

資本の引き出しで問題となる点は、決算時に引出金勘定が残っている場合です。事業用の資金である資本金を個人的に使用しているのですから、引き出し金を相殺して資本金が減ったという処理をしなければなりません。

例4 決算となり上記3例を資本金勘定へ振り替えた。
(借方) 資本金 17,000 (貸方) 引出金 17,000

このように、個人商店と株式会社（有限会社）では資本を引出せるかどうか大きな違いの一つです。



MEMO
